

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県生活協同組合	代表者	竹生 正人	法人・事業所の 特徴	生協福祉理念「あなたらしさ いつまでも」を念頭に置き、ご利用者・ご家族・地域の方に対してお役立ちができるよう努めています。 また、訪問する事で自宅での生活を続けることが出来るように、困っている事をお手伝いしたり、悩みの相談にのりながら在宅生活を支えています。 その人らしさをささえきることを目標に、生協 10 の基本ケア方針に基いた生活リハビリを行い、ご本人の「～したい」の実現を目指しています。ご利用者の方が楽しく継続出来ることを増やせ、自分の望む『ご利用者本位』の毎日を過ごして頂けるように、職員一丸となって取り組んでいます。
事業所名	県民せいきょう 小規模多機能ホーム 大野きらめきハウス	管理者	松田 誠子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	3 人	人	1 人	人	人	2 人	人	7 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表	1 項目 1 つの改善計画にし、モチベーションを上げられるようにすぐに改善し易い事から取り組んでいきます。 - 月ごとに項目を決め、全体的に改善できるようにし、「ほとんどできない」を無くしていきます。	- 変則勤務により、情報がなかなか全職員に共有できませんでした。 - 全職員で話し合い、改善計画の意識を高め、個々の目標に向かって取り組む事が出来ました。	- 外部者が書く項目としては、関わりが無く、分からない為に書きにくいですね。 - 各ご利用者の情報共有ができずに、統一したケアをする事ができなかった。数字だけを見ると利用したいかどうか不安になる為、自信を持って評価をしてほしいです。（自分に厳しくしなくて良いと思います。） - 具体的な取り組みが解りました。	- ミーティングノートでの確認をしやすいように月のカレンダーを貼り、月の出来事を書きます。記入内容が見やすいように名前、事項を記入していきます。 - 各項目の改善できなかった事を年間目標にして、取り組んでいきます。 - 小規模会議を毎月 1 回開催し、ご利用者の情報を共有していきます。
B. 事業所の しつらえ・環境	- 家族会等に参加をしてもらえように、日時と家族の要望を取り入れた行事の企画を考え、多く方に参加して頂ききらめきに来る機会を増やしていきます。 - ご家族の方に結カフェ等への案内をして、参加して頂く事できらめきに入りやすく、地域ぐるみで過ごせる事業所を目指せるようにします。	- 秋祭りのご家族の参加はありましたが、他にご家族との交流はとれませんでした。 - ご家族とご利用者の、結カフェへの参加は曜日が合わず、ありませんでした。	- 家族との交流が少ないと思います。 - 交流の場があれば参加して、日頃の作品を見に施設内に入りたいですね。 - 用事が無い日に出向きたいのですが、本人の利用日でなく入り難いですね。 - 評価は厳しいですが取り組みがされている事は分かりました。	- ご家族との交流がもてるように、家族会を年に 2 回おこないます。 - 地域の方や、ご利用者ご家族が気軽に立ち寄れるように、展示物や催しを企画します。 - 食事会 - きらめき内に日頃の写真、制作物の展示 - 個別レクの様子

C. 事業所と地域のかかわり	・在宅生活のうえで地域に支えられている事を念頭に入れ、地域との関わりが普段からもてる様に、今年度も開成中学へ出向いての認サポ、長生サロンや結カフェの開催、施設周辺の掃除など地域に貢献していきます。 ・『小規模とは』を知っていたく為に、集会室にどのような取り組みをしているのかを掲示します。 ・月に1回の外出にはご利用者の気分転換と、地域との身近な関係を築く為、近くの喫茶店や買い物等へ出かけます。	・長生サロンや結カフェに職員が1人1人企画して、実施する事が出来ました。 ・『小規模』を知って頂く為の掲示物やアンケート箱を設置する事が出来たが、施設内に来られる方が決まっており、知名度が低かったです。 ・外出行事では、喫茶店や買い物、花見等外に出る機会を定期的の実施して、楽しめる事が出来ました。	・困りごとに対して、相談を受ける事は少ないのでしょうか。 ・結カフェでデイサービスの相談をされる事は多いですね。 ・外出行事では、昼食を家族と一緒に食べて過ごす事ができる企画をしてほしいです。 ・以前、温泉に一緒に行った行事は良かったです。クリスマス会で食事会ができたなら良いですね。 ・落語等の公演を楽しみ、家族と一緒に笑う機会があると良いと思います。 ・曜日を越えた交流をしてはどうでしょうか。 ・毎月ではなくても良いので、一緒に作品等を見て話すきっかけがほしいです。	・町内の行事にご利用者と一緒に参加して、顔が見える関係作りをしていきます。 ・認知症カフェの来客者様に『小規模とは』を知って頂ける活動をしていきます。 ・出張認知症サポーターや長生サロン、結カフェ等で地域の中で楽しく過ごせるようにボランティアの協力を得て、交流をはかっていきます。 ・毎月1回は外出して、近くの喫茶店や買い物等に出かけ、ご利用者の気分転換をはかったりし、季節を感じて頂けるようにします。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・大野きらめき応援団の活動内容を報告し、応援団員やボランティアの募集を続けます。(いつでも誰でも立ち寄れる施設を目指します)	・きらめき応援団の認知度が低く、小規模への訪問はなかったです。	・大野きらめき応援団についての話を、来て下さる方にしか声掛けが出来ていないならば、近くの区長さんにお問い合わせすると良いと思います。	・地域の方に、きらめき応援団を知っていただく為に、チラシを配布し、同時に募集もおこないます。利用者と一緒に地域の行事に参加し、地域にとけこめる関係作りをしていきます。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議に代表となる家族を順番に決めさせていただくが、会議の案内はご利用者家族全員に配布します。 ・地域団体や老人会などへ声をかけ、参加をお願いしていきます。	・運営推進会議のご家族代表をお願いするのに、なかなか出席していただける方が見つからなかったです。	・地域の心配事は、場所的にすぐに市役所に相談に行ってしまうですね。 ・会議へのご家族さんの参加は曜日が難しいのですかね。	・運営推進会議の報告をおこない、気軽に参加して話して頂ける事を知って頂きます。 ・曜日についてはご家族に確認します。 ・生協に福祉委員会が位置づけられており、月1回会議を実施しております。新年度より、地域住民として、また福祉委員としての外部からの参加をしていきます。(個人情報については、個人を特定できないようにイニシャルで表示をします。)

F. 事業所の 防災・災害対策	・避難訓練を行う時間帯を毎回変更したり、職員に知らせず実施します。 ・避難訓練の案内を家族に出し、参加協力をお願いしていきます。	・夜間を想定した避難訓練ができ、対応法を確認する事ができました。 ・避難訓練へのご家族様の参加は少なかったです。	・他の事業所での防火訓練では、近くの職員から駆けつけるようになっていますが、近くの職員が早く駆けつけられると良いですね。 ・水害時は2階に上がれない方もおられると思いますが、どのようにしていきますか大変ですね。	・避難訓練への案内を家族様に出して、参加協力をお願いしていきます。
----------------------------	---	---	--	---